

平成 30 年 1 月 31 日

各 位

会社名：川崎汽船株式会社
代表者名：代表取締役社長執行役員 村上英三
(コード番号 9 1 0 7 東証・名証各第一部、福証)
問合せ先：経営企画グループ長 五十嵐 武宣
(TEL 0 3 - 3 5 9 5 - 5 5 9 4)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 10 月 31 日に公表した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	通期				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年 10 月 31 日公表)	百万円 1,140,000	百万円 13,000	百万円 13,000	百万円 8,500	円 銭 90.96
今回修正予想(B)	1,160,000	11,000	3,000	8,500	90.96
増減額(B-A)	+20,000	△ 2,000	△ 10,000	0	0
増減率(%)	+1.8%	△15.4%	△76.9%	0.0%	0.0%
(ご参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	1,030,191	△ 46,037	△ 52,388	△ 139,478	△ 1,488.23

注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり連結当期純利益を算定しています。

2. 修正の理由

ドライバルク事業を中心として市況は緩やかな回復基調を続けている一方で、コンテナ船は第 3 四半期に入り、北米・欧州航路を中心に市況が低迷しました。第 3 四半期での運賃実績を踏まえ、第 4 四半期のコンテナ船市況見通しを変更し、また、燃料油価格上昇や持分法適用会社収支の影響を織り込み、通期の連結経常利益予想を上記のとおり修正いたしました。一方、事業ポートフォリオ転換に関連した事業資産整理による当期特別損益を見込むため、通期の当期純利益については前回発表予想から変更ありません。当社は中期経営計画を推進するとともに、更なる合理化による収支改善に努めてまいります。

以上

川崎汽船ホームページURL <http://www.kline.co.jp>

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。